

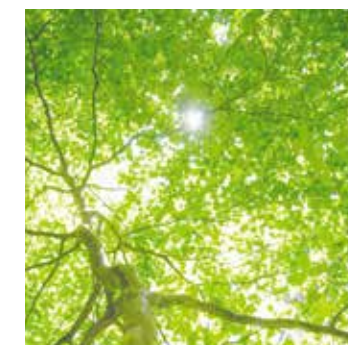


株式会社オークワ

本社/〒641-8501 和歌山市中島185番地の3
TEL.073-425-2481(代)
<http://www.okuwa.net>



OKUWA REPORT 2022



オークワ
オリジナルキャラクター **クワにちゃん**



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS**
私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

「商業を通じて地域社会に貢献する」

わが社の成長発展こそがお客様の生活文化の向上を促し、社会への大きな貢献となることを念願し、チェーンストア業界の名門としての地位を永遠に確立する。

私たちの目指すもの ～オークワ経営ビジョン～

「変わらぬ想いで、変わり続けるスーパーマーケット」

環境、社会、経済などの変化に適応し、

顧客ニーズに即した便利さとお買い物の楽しさを提供する店舗づくりで、

お客様の生活に欠かせない地域の生活インフラとして貢献し続けます。

オークワの信条

- 1 今日、只今あるすべてに感謝し、お客様並びに取引関係先様から、信頼され親しまれる会社になるよう日常の行動に誠実を尽くす。
- 2 技術革新に基づく合理的経営を行い、商品コストを下げ、常に良い品を安く奉仕させていただけるよう研究努力を行う。
- 3 愛と奉仕と誠実をモットーに商業を通じて地域社会に貢献する。
- 4 一挙に大を望まず、たゆみなき努力の積み重ねによる堅実経営を行い、長期の安定成長を計画し、全社員の福祉と生活向上を実現させる。

編集方針

オークワの企業姿勢や具体的な取り組み内容を、株主・投資家の皆様をはじめ、お取引先様、お客様などのあらゆるステークホルダーの皆様にご理解をいただくために、今年度2022年より新たに「オークワレポート」を作成いたします。このレポートを通して、今後も皆様からの忌憚のないご意見をいただきながら改革を進め、地域社会と共に持続的に成長発展する企業になれるように取り組んでまいります。

報告対象組織	株式会社オークワ ※一部、グループ会社の内容も含まれます。
報告対象期間	2021年度(2021年2月21日から2022年2月20日まで) ※一部、上記期間外の取り組み内容を掲載しています。
発行日	2022年4月30日
オークワレポートに関するお問い合わせ	株式会社オークワ サステナビリティ推進室 〒641-8501 和歌山市中島185番地の3 TEL (073)425-2481 (代) URL http://www.okuwa.net

私たちの行動規範

1. お客様との関係

- 1 私たちは、お客様の安全安心を最優先に、関係法令を遵守し、お客様に満足いただける商品・サービスを提供することに努めます。
- 2 私たちは、常に公正かつ誠実な態度でお客様に接し、お客様からのご意見には迅速かつ的確に対応します。
- 3 私たちは、お客様の個人情報を保護し、収集、利用、管理は適正な方法で行います。
- 4 私たちは、お客様からの苦情に対しては真摯に対応し、不当要求と認められる場合には上司と共に法令に則り適切な対応を心がけます。

2. 従業員との関係

- 1 私たちは、基本的人権と多様な価値観を尊重し、人種、宗教、性別、国籍、信条、障がい、年齢等に関する差別的言動、暴力行為、セクシャルハラスメント、いじめ等の人格を無視する行為を行いません。
- 2 私たちは、労働関係法や安全衛生に関する法令等を遵守し、従業員の安全衛生の確保を最優先に、安全で衛生的な職場環境の整備、維持に努めます。
- 3 私たちは、業務上のあらゆる情報を漏洩のないよう厳正に管理します。

3. 取引先との関係

- 1 私たちは、すべての取引先が当社と対等の立場であることを十分認識して、公正かつ誠実に対応します。
- 2 私たちは、取引先との接待や贈答品の授受を、社内規則及び社会的常識の範囲内とします。
- 3 私たちは、取引条件や契約内容等の業務で知り得た取引先の機密情報は、漏洩のないよう厳正に管理します。
- 4 私たちは、委託者責任の観点から業務委託先の業務についても健全性および適切性を管理します。

4. 株主との関係

- 1 私たちは、企業経営に関する法令を遵守し、企業経営と事業活動に関する情報を適法かつ適正に情報開示を行います。
- 2 私たちは、株主の権利行使に関する利益供与や会社関係者によるインサイダー取引は、株主からの信頼を裏切り、企業の信用を失墜させる行為であり、絶対に行いません。
- 3 私たちは、株主の財産に関する重要等の株主情報を漏洩しないよう厳正に管理します。

5. 社会との関係

- 1 私たちは、関連法令を遵守し、許認可取得、届出及び報告等の手続きを適時的確に行います。
- 2 私たちは、すべての企業活動にあたり環境保全を重視し、環境負荷の抑制に努めます。
- 3 私たちは、会計帳簿への記載や伝票、記録等を故意に事実と異なる不正処理を行いません。
- 4 私たちは、暴力団または反社会的勢力との関係を持たず、かつ取引を行いません。
- 5 私たちは、企業市民として社会貢献活動に積極的に参加し、地域社会の発展に寄与します。

目次

01	経営理念・経営信条	17	健康、安全・安心な暮らしのために
02	私たちの行動規範	19	環境への取り組み
03	トップメッセージ	22	オークワの DX の推進
04	オークワのあゆみ	23	魅力ある職場づくり
05	事業内容・事業展開	25	ガバナンス
07	サステナビリティの取り組み	27	ESG データ集
09	地域とお客様の暮らしをサポート		
13	社会貢献活動		
15	地域社会の安全・安心のために		

※掲載写真は、コロナ禍以前に撮影したものもあります。

トップメッセージ



新たな「変化の時代」への挑戦。 サステナブル経営を軸に、地域の暮らしと未来を豊かに。

2021年は、新型コロナウイルス感染症の収束がいまだ見えない状況の中、近隣店舗の利用やまとめ買いによる来店頻度の低下などお客様の買い物のスタイルが大きく変化しています。また、オンラインの活用などIT技術の発展により、社会全体が大きく変革していることを目の当たりにしています。こうした状況下において、改めてスーパーマーケットの存在意義を考えますと、私たちはこの新たな「変化の時代」にいち早く対応すべく挑戦をし、地域の暮らしと日々の生活の質を守る、地域になくなくてはならない存在として成長を続けなければならないと確信しています。

オークワは、小売店舗を「レギュラー」「スーパーセンター」「メッサ」「プライスカット」の4つの業態で展開しており、地域のお客様のさまざまなニーズへの対応を図っています。2021年度は新たにレギュラー業態の「田辺東山店」、メッサ業態の「パレマルシェ神宮前店」を開店しました。さらに10店舗の大型改装を行い、それぞれの店舗で新しい取り組みにチャレンジするとともに、成功事例は速やかに他店舗にも水平拡大を図り、全業態のブラッシュアップを推し進めています。

2020年2月より展開をスタートしたオークワブランド商品は、「あの商品があるから、オークワに行こう」とお客様が目当てにしてください。商品開発・育成を推進した結果、2022年2月現在では、631SKU※、190億円の販売額に成長しました。今後も、環境や地産地消といったサステナビリティの視点を積極的に取り入れながら、地域のお客様の声を大切に、さらなる開発・改廃を行っていきます。

そして、4つの業態の確立とオークワブランド商品の充実および認知度アップ、従業員のカスタマーサービススキルの向上、それらの活動を支える従業員の働きやすさ・働きがいの創出に力を入れ、独自性のある地域になくならないお店づくりを進めています。

社会に目を向けると、コロナ禍や環境問題など従来のやり方では対応できない時代になっています。こうした大きな変化に対応するには、

企業活動においても抜本的な改革が必要です。そのひとつ、IT技術やAIの活用等DXの推進が今後ますます重要になると考えています。オークワでは早くからセルフレジの導入やネットスーパーの開設といったIT技術を使った顧客サービスを推進してきました。今後もDXの深化にチャレンジし、社会のデジタル化シフトに対応していきます。

私たちは、「商業を通じて地域社会に貢献する」という信条を実現すべく、社会貢献活動にも取り組んでまいりました。1993年「財団法人大桑教育文化振興財団」を設立し、地域の教育やスポーツ、文化事業への援助、寄付活動を行っています。オークワ本体でも、出店地域との災害支援協定の締結や日本赤十字への義援金寄託、和歌山県社会福祉協議会との協定に基づく和歌山県内の子ども食堂へのお米の寄贈など、様々な社会貢献活動を行っています。

また、太陽光発電設備の設置・稼働、再生エネルギーの導入・活用、店頭でのリサイクル資源回収ボックスの設置など、環境への取り組みを実施しています。しかし、地球温暖化や海洋汚染の問題など地球環境の課題はまったなしのところまで来ています。そこで、当社でも、未来の地球、未来の子どもたちにより良い環境をつないでいくために「サステナビリティ」を中心にすえた「環境」と「社会」の取り組みをより一層推進するための「サステナビリティ推進室」を2021年9月に新設しました。今後、関係各所、社内の各部署と連携を取りながらさまざまな取り組みを実施し、オークワの持続成長を通じて「地球環境の維持」と「地域社会の持続的成長」に貢献できるように取り組んでまいります。

この度、サステナビリティの取り組みを主軸とした当社の活動報告書「オークワレポート2022」を発行いたしました。皆様からのご理解やご支援を引き続き賜りますようお願い申し上げます。

※SKUは在庫管理上の最小管理単位で、Stock Keeping Unitの略です。

株式会社オークワ 代表取締役社長
大桑 弘嗣
OKUWA HIROTSUGU

オークワのあゆみ

1959年～



事業内容・事業展開

4つの業態で、地域の持続的な成長に貢献

地域密着、低価格訴求、高級志向、ワンフロアワンストップショッピングといった視点を4つの業態に落とし込み、事業を展開しています。また、お客様と商品がデジタル店舗でもつながるチャンネルも運営しています。多様化するお客様のニーズに対応する多角的展開で、地域の持続的な成長と生活の質の向上に貢献し、地域になくてはならない生活インフラとしての存在感の向上を図っています。

レギュラー業態



「地域密着を第一に」をコンセプトに、食料品・日用品を中心に、毎日の食と暮らしをサポートする商品を提供する業態です。

96店舗



オークワ本社中島店

スーパーセンター業態



毎日の暮らしに欠かせない商品、サービスを、ワンフロアワンストップショッピングでご提供する業態です。「衣・食・住」のすべてを扱う大型店舗です。

29店舗



スーパーセンターオークワ掛川店

メッサ業態



「高級志向」のお客様をターゲットとした、上質な美味しさを揃えたひとクラス上のスーパーマーケットです。商品だけでなく、内装にもこだわり、高級感あふれる空間とし顧客満足度の向上を図っています。

6店舗



メッサオークワ高松店

プライスカット業態



とにかく安い「低価格訴求」をコンセプトとした、プライス最優先の業態です。効率的な運営、ローコストオペレーションを徹底し、驚きの価格を実現しています。

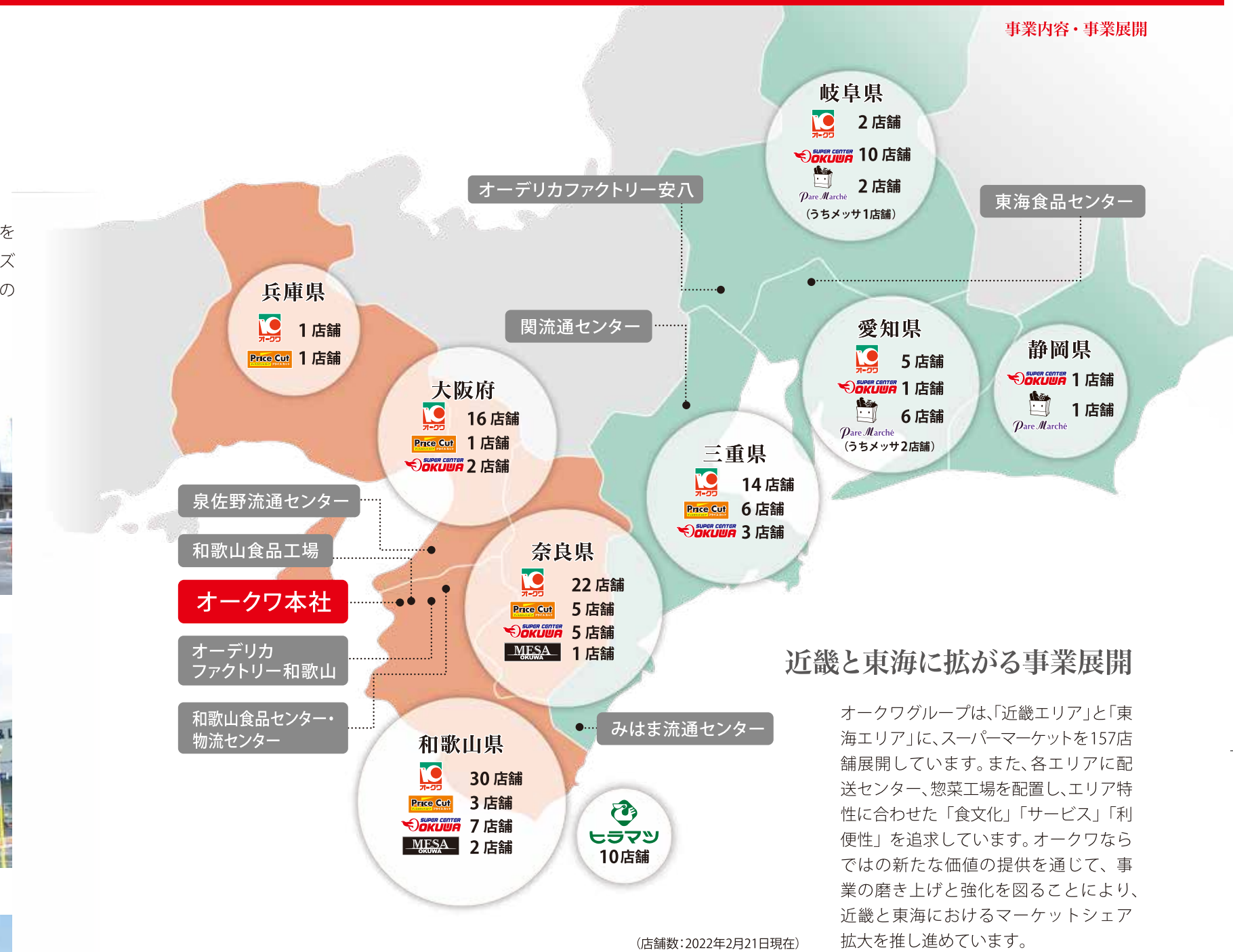
16店舗

(店舗数：2022年2月21日現在)



プライスカット榛原福地店

事業内容・事業展開



近畿と東海に広がる事業展開

オークワグループは、「近畿エリア」と「東海エリア」に、スーパーマーケットを157店舗展開しています。また、各エリアに配送センター、惣菜工場を配置し、エリア特性に合わせた「食文化」「サービス」「利便性」を追求しています。オークワならではの新たな価値の提供を通じて、事業の磨き上げと強化を図ることにより、近畿と東海におけるマーケットシェア拡大を推し進めています。

会社概要

創業	1938年5月	従業員数	15,672名(準社員を含む) (2022年2月21日現在)
会社創立	1959年2月27日	事業内容	システムによるチェーンストア経営 食料品、酒類、米類、家庭用品、住居用品、室内装飾品、DIY、レジャー用品、スポーツ用品、家庭電化製品、化粧品、医薬品、衣料品の販売
会社設立	1969年2月21日		
会社名	株式会社オークワ	グループ会社	株式会社ヒラマツ 株式会社オークフーズ 株式会社リテールバックオフィスサポート 株式会社サンライズ 株式会社オー・エンターテイメント 有限会社マミー
資本金	141億1,749万円		
代表者	代表取締役社長 大桑 弘嗣		
本社	和歌山市中島185番地の3 TEL.073-425-2481(代)		

サステナビリティの取り組み

サステナビリティの取り組み

持続可能な社会と暮らしの実現に向けて

「商業を通じて地域社会に貢献する」の経営信条のもとお客様から信頼される企業を目指しています。そのために、すべてのステークホルダーの皆様と協働して、当社グループの成長と社会の持続可能性を両立させるため、「サステナビリティ基本方針」を定めるとともに、サステナビリティの優先課題として「サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）」を掲げ、取り組みを推進しています。

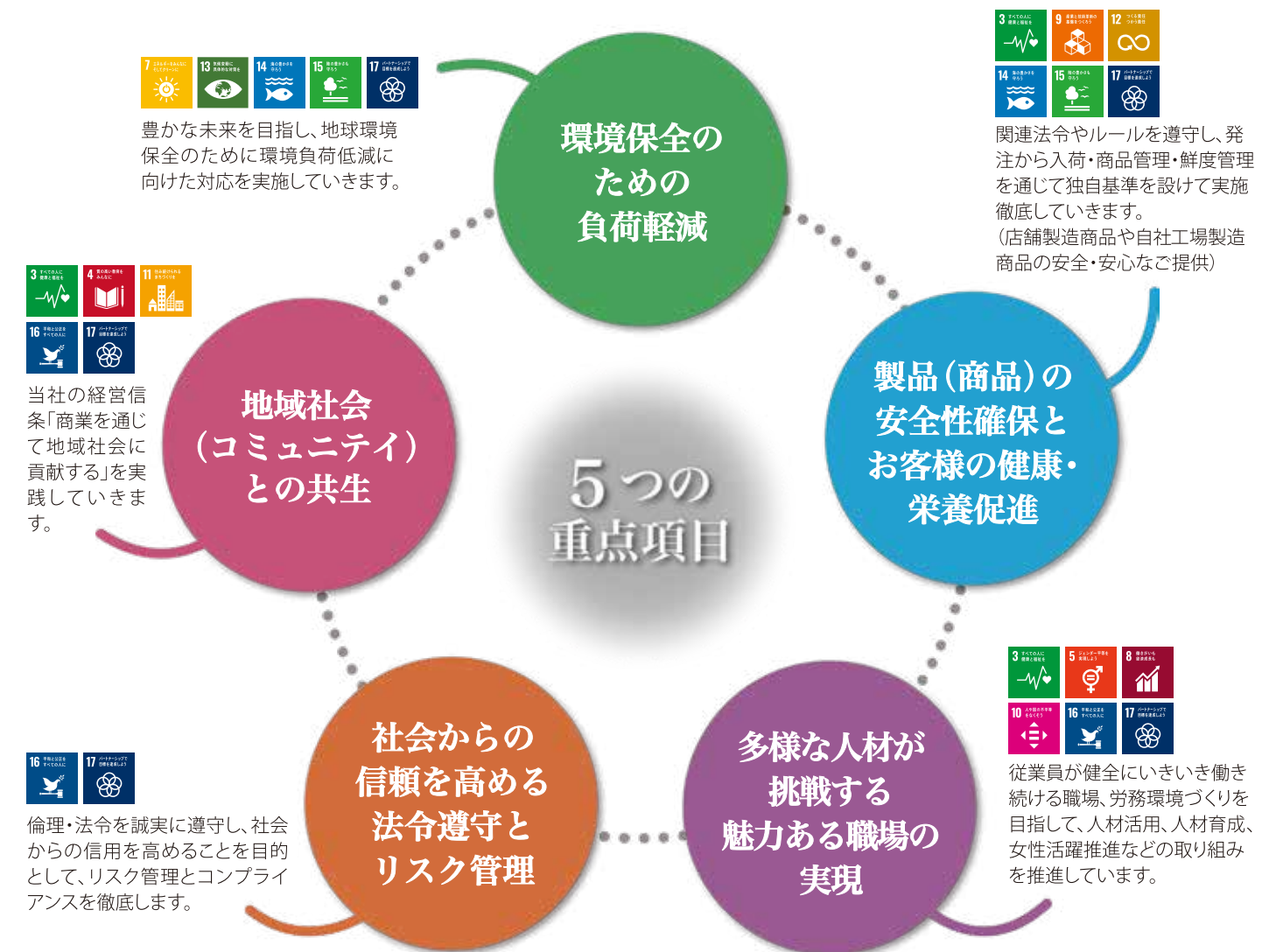
サステナビリティ基本方針

- 1 地域社会の発展につながる活動に関わり、地域の皆様のより良い生活に貢献します。
- 2 安全、安心、健康に配慮した商品を提供し、取引先との公正な事業慣行に則ったサプライチェーンを構築します。
- 3 地球環境問題の解決に取り組み、持続可能な社会づくりと環境負荷低減に努めます。
- 4 地域社会との連携と協調を図り、地域社会の一員としての責任を果たします。
- 5 次代を担う子供たちが明るく健康に育つよう育成支援に努めます。
- 6 世界各国ならびに日本の環境法令、地域の条例・協定、ステークホルダーとの合意事項等を遵守し、適切な対応を行います。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）



重点項目

課題項目

環境保全のための負荷軽減	・気候変動対応（温室効果ガス排出量削減） ・環境に対する責任と保全 ・ICT活用による環境負荷低減	・持続可能なエネルギー消費 ・サプライチェーンの環境配慮 ・店頭回収資源の循環活用促進
製品（商品）の安全性確保とお客様の健康・栄養促進	・商品情報、食育情報の発信 ・食物アレルギー表示	・低アレルギーメニューの開発
地域社会（コミュニティ）との共生	・大桑教育文化振興財団の活動 ・社会貢献活動の推進	
多様な人材が挑戦する魅力ある職場の実現	・人材の多様性 ・健全な雇用と労使関係	・社会との対話 ・人権尊重
社会からの信頼を高める法令遵守とリスク管理	・コーポレートガバナンス ・適切な情報開示	・リスク危機管理

地域とお客様の暮らしをサポート

この活動に関するSDGsの取り組み



お買い物をより便利に楽しく

いつでも快適にお買い物をしていただくために、お客様の利便性向上に取り組んでいます。昨今は特にDXの推進に重点を置き、デジタルを活用したサービスの拡充を進めるとともにリアル店舗との融合を図り、お客様ごとに最適なサービスを提供できる環境づくりを目指しています。

お買い物サポート

●即日配達サービス「おたすけ便」

お客様の利便性向上を目的として2005年にサービスを開始した「おたすけ便」は、店舗での買い物品をご自宅に配達するサービスです。現在103店舗で実施しており、お客様のご要望を受けて配達エリアの拡大や受付件数の増加などサービスの改善を続けています。感染症対策として、配送ドライバーはマスクの着用はもちろん、手洗い、体温の測定など感染防止を徹底して行っています。

シニア層・障がいをお持ちの方への支援
「ハートフル倶楽部デー」



60歳以上もしくは障がいをお持ちのお客様を対象に、「おたすけ便」を無料でご利用いただけるサービスデー（毎月15・16日）を設け、ご好評をいただいています。



●ネットスーパー オークワ



ご自宅や職場などからいつでもお買い物をしていただけるよう、店舗で販売している商品をオンラインで販売するネットスーパーを開設しています。コロナ禍以降、外出控えなどにより新規会員および受付件数が増加し、売上が増加しております。今後もお客様の利便性向上に取り組んでいきます。

●e-ショップ オークワ



お中元・お歳暮などをオンラインで予約・注文できるサイトを開設し、全国に配送しています。また、季節の予約弁当、クリスマスケーキなどの予約商品を最寄り店舗で受け渡ししています。ネット限定商品の販売などお客様に喜んでいただける新たな展開を推進していきます。

キャッシュレスの推進

●お客様の暮らしに根付いた「オーカード」

オーカードは、お客様への感謝の気持ちをポイントで還元することと、購買データ分析を品揃えなどに活用することを主目的として1995年に導入しました。2016年には電子マネー機能付きに進化させ、クレジット機能付きのオーカードプラスと合わせると和歌山県民の約6割が利用する、暮らしに根付いたカードになっています。コロナ禍により利用が進み非接触支払いの一つとしても貢献しています。



オーカードプラス



オーカード

●多彩な決済サービス

交通系電子マネーを含む電子マネー決済に加え、2019年10月より様々なコード決済に対応しています。スマートフォンの操作・提示のみで決済できる非接触決済サービスを充実させ、安心・安全なお買い物環境を提供しています。

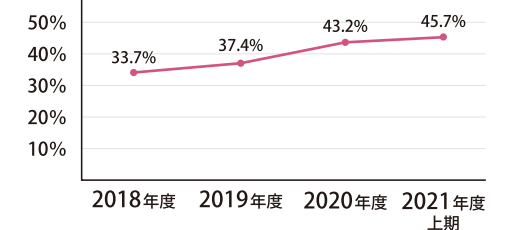


R Pay

※「LINE Pay」はLINE株式会社の登録商標です。※「au PAY」はKDDI株式会社の登録商標です。※「d払い」は株式会社NTTドコモの登録商標です。※「メルペイ」は株式会社メルカリの登録商標です。※「PayPay」はZホールディングス株式会社の登録商標です。※「ゆうちょPay」は日本郵政株式会社の登録商標です。※「楽天ペイ」は楽天グループ株式会社の登録商標です。

地域とお客様の暮らしをサポート

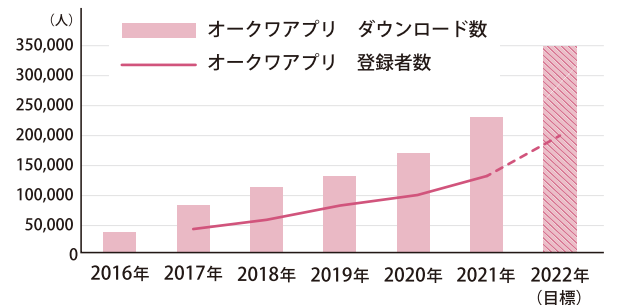
キャッシュレスの利用比率推移



●オークワアプリ

デジタル販促の中心にオークワアプリを据え、アプリ内の機能充実に取り組んでいます。各店のチラシをアプリからチェックできるWEBチラシ、ネットスーパーでの買い物、キャンペーンに簡単に応募できる「キャンタッチ」など、オークワでの買い物をより便利にしてお得にいただけるコンテンツを充実させています。今後はオーカードをバーコード化し、アプリでオーカード電子マネーの決済が可能になるよう進めています。

オークワアプリダウンロード数推移



●クワノミちゃんから発信

ツイッターのオークワ公式アカウントでは、当社のキャラクタークワノミちゃんが紹介するスタイルで、キャンペーン情報や歳時記・記念日に合わせたレシピ、地域の風物詩情報などを随時発信しています。



オークワ公式キャラクター
クワノミちゃん

●オークワ公式Instagram

ツイッターで発信している写真をInstagramにも投稿し、より多くの方の目に触れることができるよう展開しています。



●オークワ公式LINE

LINE登録者数 約16万人

オーカードとの連動、チラシのチェックなど、オークワでのお買い物をより便利にするサービスとして、多くのお客様に活用いただいています。

●オークワ公式YouTubeチャンネル

お客様とのコミュニケーションを深めるツールとしてオークワ公式YouTubeチャンネル「オークワ」を開設しています。2020年からは、「オークワブランド」の惣菜やスイーツ、調味料、契約農家の特別な野菜といった様々な商品を紹介するチャンネルとして活用しています。さらに、オークワプレミアム商品を使ったレシピを公開するなど、お客様の暮らしを豊かにする情報をお届けしています。



オークワプレミアム「梅真鯛」を使用したレシピ

地域とお客様の暮らしをサポート

毎日おいしいを、もっと

地域密着企業として、これまで以上に時代のニーズに即した便利さとお買い物の楽しさ、おいしさを提供する「驚きと感動」のある店づくりを目指し、2020年2月から4つのオークワブランドの開発に取り組んでいます。オークワブランドは当社の成長戦略の柱のひとつであり、お客様の声を聞きながら魅力ある商品開発に尽力してまいります。

オークワブランドを通じて、こだわりのおいしさをお届け



オークワプレミアム

オークワプレミアムは、4つのオークワブランドの中核であり、当社が取り扱う商品の中でクオリティの頂点に立つブランドです。産地、原料、製法（製品）、味、安全・安心など、自社で定めた厳しい条件をクリアした商品のみに冠しています。カテゴリーは鮮魚・水産加工品、野菜・果物、精肉・加工肉、惣菜、スイーツなど多岐にわたり、その一例を紹介します。

●和歌山県勝浦港水揚げ 生まぐろ

開発ポイント

- 延縄船漁獲生まぐろ水揚げ日本一の和歌山県勝浦港から直送
 - 延縄船で漁獲された天然まぐろだけを買い付け
 - 職人が目利きし、もちっとした食感のまぐろを厳選
- 「和歌山県勝浦港水揚げ生まぐろ」は、日本一の産地、確かな場所で漁獲した原料、裏付けのある味わい、鮮度を保つチルド配送を満ちし、オークワが自信を持って提供している商品で、地産地消にも一役買っています。



●寅ちゃんねぎ

開発ポイント

土壌へのこだわり、栽培方法へのこだわり、栽培面積・収穫量を拡大しないブランドへのこだわりが生み出す、肉厚で甘味のある希少な白ネギ「寅ちゃんねぎ」。山形県の限定農家がつくる逸品をオークワのバイヤーが見出し、関西ではオークワだけで販売しています。



●平飼いたまご ▶ 濃厚かすてら

開発ポイント

オークワプレミアム商品から新たなオークワプレミアム製品を生み出すリレー開発も行っています。そのひとつが岡山県の「平飼いたまご」を100%使用した「濃厚かすてら」です。国産小麦、北海道の甜菜糖を使用したもちりとした食感、やさしい甘みが特長です。



●熟成赤鶏 ▶ サラダチキン

開発ポイント

ワンランク上の鳥種 赤鶏。熟成による柔らかな肉質。ドリップが出にくい冷却工程によりジューシーでコクのある味のオークワプレミアム「熟成赤鶏」。この商品をリレー開発したのが「サラダチキン」です。低カロリー・高タンパク食品として人気のアイテムをオークワプレミアムでも展開しています。



この活動に関するSDGsの取り組み



●名物唐揚げ

開発ポイント

素材の旨味を活かしたうすくち醤油ベース。こだわり食材。カリッと食感。冷めても美味しく何個でも食べられる唐揚げは、2019年度第10回からあげグランプリ®（西日本スーパー惣菜部門）金賞を受賞しました。



●北海道ごろっとじゃがいもカレー

開発ポイント

北海道じゃがいも「マチルダ」を贅沢に使用。ごろっとした具材感。北海道産原料使用、北海道製造という「北海道」にこだわったシリーズとして展開する、新提案レトルトカレーです。



オークワマルシェ

商品を知り尽くした当社のバイヤーがおすすめるブランド「オークワマルシェ」。価格以上のこだわりをプラスした、オークワの独自性が光る付加価値商品です。



オークワマルシェ商品一例
「勝栄丸漁獲限定 炭火焼かつおたたき」



オークワセレクト

オークワの商品開発ポイントに合致したメーカー商品だけを、当社のバイヤーがセレクトした特選ブランドです。



O-SOZAI

自社工場オーデリカファクトリーで製造しているお惣菜ブランドです。オークワ独自の視点で原材料や味付けにこだわるなど、商品開発から製品化までを一貫して手がけています。

●オーデリカファクトリー和歌山 オーデリカファクトリー安八

O-SOZAIブランド約200アイテムの惣菜を開発・製造している自社工場オーデリカファクトリー。和歌山市と岐阜県安八市、近畿と東海の2工場体制とし、地域ごとの嗜好に対応する商品づくりを行うとともに、店舗への配送時間の短縮にも配慮しています。



ポテトサラダ



8種具材の具たっぷり中華丼



手づくり感を追求したジャガイモ攪拌機



にんにく醤油まぜそば

オークワブランドを支える自社工場・センター

●関流通センター

物流拠点であると同時に製造ラインを併設しており、オークワマルシェの人気商品「肉餃子」を製造しています。



●和歌山食品工場

1988年稼働のオークワ初の自社工場です。豆腐、こんにゃく、麺類などの日配品を良質な地下水を使用し、こだわりの製法と原材料で製造。オークワブランド商品の開発にも取り組んでいます。

共同開発PBブランド「くらしモア」

お客様に価値ある商品をお届けするために、業界トップクラスの共同仕入機構「日本流通産業株式会社（ニチリウ）」と共同で開発し、ニチリウのスケールメリットを生かした共同仕入れを行っているプライベートブランド「くらしモア」。豊富なアイテムとお手頃価格を実現しています。



社会貢献活動

社会貢献活動

この活動に関する SDGs の取り組み



地域社会のいまと未来のために

人々の暮らしを豊かにし、社会の発展に寄与することは、オークワの重要なミッションのひとつです。オークワは地域社会の一員として、地域の人々との交流を活発に図るとともに、教育や文化、スポーツ支援から災害支援まで、さまざまな活動に尽力しています。こうした貢献活動を通して、地域社会になくてはならない企業であり続けたいと考えています。

創業の地、和歌山の発展を支援する「大桑教育文化振興財団」

公益財団法人 大桑教育文化振興財団は、オークワの創業者・故大桑勇が、会社を大きくしていただいた地域への恩返しを支援というかたちで行うことを目的として、私財を投じ、1993年9月に設立しました。和歌山県の文化、教育、スポーツに関わる各種助成事業を行い、地域の発展に寄与する活動を行っています。29回目を迎えた2021年度は、50人の大学生と6名の高等学校スポーツ選手に奨学金を毎月定額を給付するほか、各種の団体・個人、学校・学園に援助や寄贈を行いました。



2021年度の活動 援助・寄贈額 合計 **3,369** 万円

文化事業

大桑文化奨励賞

文化・芸術分野で優れた活動に取り組む和歌山県ゆかりの人に贈る大桑文化奨励賞に、根来寺根来塗師・池ノ上辰山さんとピアニストの中谷政文さんが選ばれました。表彰式ではお二人の講話と中谷さんのピアノ演奏が披露されました。



池ノ上 辰山 様(漆芸・根来塗) ▶



▲中谷 政文 様(ピアノ演奏者 エリザベート音楽大学 ピアノ専攻専任講師)

文化活動に対する援助

和歌山県下で、文化の発展・継承に取り組んでいる「無形民俗文化財保持団体」と「文化活動」に対して毎年支援を行っています。2021年度は、二川歌舞伎芝居保存会(有田川町)、印南八幡秋祭実行委員会(印南町)、有田市吹奏楽団、熊野古道全国書道展実行委員会が選ばれました。

教育事業

大学生に対する奨学金の給付

財団創設者である大桑勇は、貧しくて学校へ行きたくても行けなかった子どもの頃を思い返し、能力があっても経済的な理由で大学進学をためらっている学生を援助したいとの願いから、大学生を援助しています。2021年度は50名に対して毎月3万円を給付しました。

学校等に対する図書支援

和歌山県の図書館教育の充実を図り、園児・児童・生徒に国語力をつけるために学校図書の寄贈を行っています。今年度は、幼稚園3園、小学校3校、中学校3校、高等学校1校の計10校に寄贈しました。

教育活動援助(社会学習・文芸)

和歌山県内で行われる児童生徒の学習支援を目的とした活動の中から、精査した上で次の3つの教育活動を支援しました。

- ①和歌山県美術展覧会
主催：和歌山県
- ②中学生の「税についての作文」コンクール
主催：国税庁と全国納税貯蓄組合連合会
- ③ふるさとわかやま学習大賞
主催：和歌山県教育委員会

スポーツ事業

スポーツ関係に対する援助

スポーツの発展や子どもたちの健康づくり、地域のコミュニティに寄与する活動を援助しています。2021年度は次の2つの活動に対して援助を行いました。

- ①スポーツ選手強化費援助
- ②市町村対抗ジュニア駅伝競走大会援助

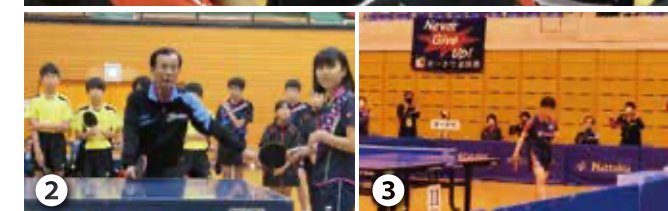
スポーツ支援

●オークワ女子卓球部

1997年4月に発足したオークワ女子卓球部は、2022年に創部25周年を迎えました。卓球を通じて「地域社会貢献に寄与する」ことを目標に、所属選手たちは仕事と卓球の両立をモットーに、卓球の技術だけでなく社会人としての成長を目指して活動しています。

日本卓球リーグ実業団連盟に加盟し、女子2部リーグにおいて年2回のリーグ戦の他、全日本卓球選手権大会、全日本実業団選手権大会、国民体育大会などの国内主要大会にも参戦するなど、所属選手は一人ひとりが自己研鑽を図っています。また、地域貢献の一環として、地域の中高校生や卓球愛好家、卓球指導者の方などを対象に技術や戦術、指導方法といった卓球講習会を各地で開催しています。

オークワ女子卓球部は、地域の皆様や子供たち、そして卓球を愛好される方たちに、卓球を通じて、「勇気と元気と希望」を届けられるよう、「感謝と誇り」を忘れずに、積極的に社会貢献活動に取り組んでいます。



写真①、② 卓球講習会の様子 写真③ 試合の様子

●ちびっこマラソン

「オークワ・S&B ちびっこ健康マラソン大会」は、1985年度開始以来、毎年約700名が参加する和歌山県有数のスポーツイベントです。この大会をオークワは30年以上にわたり、次代を担う子供たちが心身ともに元気に育って欲しいとの願いを込めて主催しています。(2020年・21年・22年はコロナ禍により中止となりました。)

●ジュニア駅伝

大桑教育文化振興財団は、2002年に始まった「和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会」に毎年協賛しています。スポーツの振興と青少年の健全育成を図るとともに、県及び各市町村の活性化に資するため、小中学生代表による駅伝競走を支援しています。(2022年はコロナ禍により中止となりました。)

寄付・寄託活動

●赤い羽根共同募金運動

「商業を通じて地域社会に貢献にする」との経営信条のもと、2005年より赤い羽根共同募金運動に協力しています。地域の自治会や小・中学生等による街頭募金活動への場所提供を、店舗にて行っています。また、売り上げの一部が赤い羽根共同募金に寄付される「赤い羽根自販機」を、本社・社員食堂に設置しています。2017年からは、赤い羽根「寄付金付き商品」の販売も行っています。2021年度は、お中元ギフト2品、お歳暮ギフト3品を赤い羽根「寄付金付き商品」として販売しました。

●スマート行使による国連 WFP への寄託

2021年5月13日開催の第52回定時株主総会での議決権行使におけるスマート行使(はがきでの返送以外の電磁的行為)のご利用により削減できました郵送費用の一部を「国連 WFP」へ寄託しました。SDGsの目標のひとつである「飢餓をゼロに」につながる支援に役立てていただきます。

●日本赤十字への義援金寄託

2020年「令和2年7月大雨災害」の被災地支援を目的に、オークワおよびヒラマツの店舗・事業所において義援金の募金活動を実施しました。お客様・オークワグループ従業員から寄せられました義援金1,661,546円を日本赤十字社和歌山県支部に寄託しました。

●レジ袋有料化に伴う寄付

2020年7月にスタートした「レジ袋有料化義務化」に伴いお客様にご購入いただいた有料レジ袋の収益金を、各店舗が所在する自治体の環境保全や社会貢献を目的とした基金等に、毎年寄付しています。

●牛乳パック回収に伴う寄付

各店舗で行っている牛乳パックの回収・売却の収益を、出展地域の環境保全に役立てていただくために地方自治体(和歌山県・三重県・奈良県・大阪府・愛知県・岐阜県)へ、毎年寄付しています。